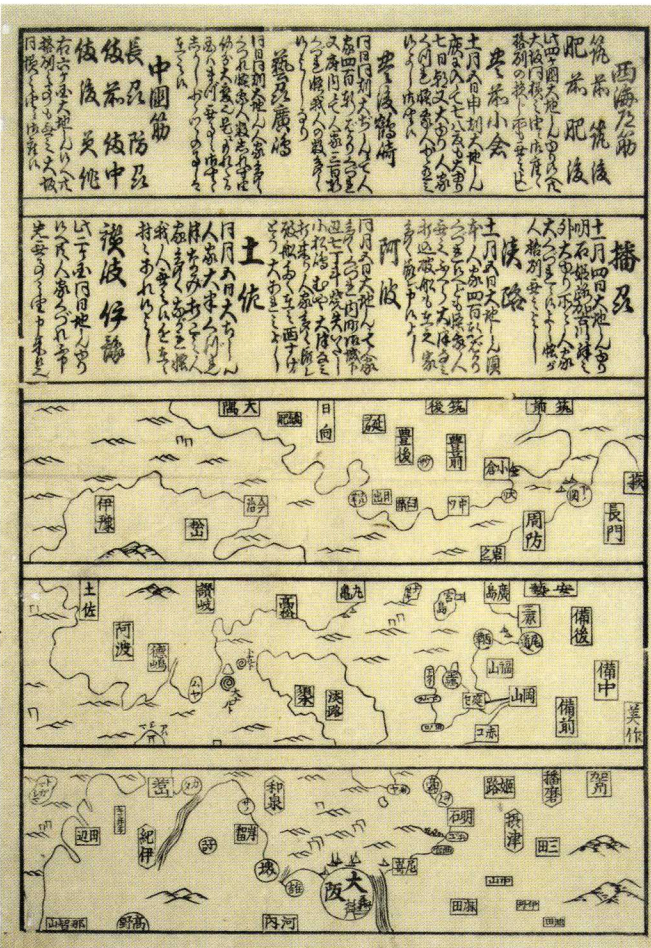


西国地震瓦版 さいごくじしんかわらばん



安政元年(1854)11月4日から同月7日にわたって西国を襲った地震“安政南海地震”の被災状況を知らせる瓦版です。中国・四国・九州各地の被災状況を記すとともに、当該地域の地図も掲載されています。

瓦版の記事によると、九州の筑前・筑後・肥前・肥後の四力国では「大地しんゆり候へ共、大坂同様之由二御座候、格別の損じ所も無之よし」とあり、大地震による揺れはあったものの、大した被害はなかったと記されています。これに対して、豊前小倉では「十一日五日申刻大地しん、夜に入候て七、八度も大ゆり、七日朝又大ゆり、人家くつれ、怪我人少々有之候よし御座候」とあり、11月5日の申刻(午後4時頃)に起きた大地震を皮切りに、その夜に大きな揺れが7、8回続き、7日朝になって再び大きな地震が生じ、人家が倒れ、怪我人が少々出るなど、細かな地震の経緯と被害の状況が記されています。

同じく豊後鶴崎では「同日同刻(11月5日申刻と7日朝)大ぢしんにて、人家四百軒ばかりくつれ、又府内にて人家三百軒くつれ、怪我人の数多く候よしなり」とあり、5日から7日にかけて起きた大地震によって鶴崎で約400軒、豊後府内で約300軒の人家が倒壊し、怪我人も数多く出たと記されています。豊前小倉の「人家くつれ、怪我人少々」の被災状況と比べて、別府湾岸の鶴崎や府内の被害がより大きかったことがうかがえます。

このように本瓦版は、安政の南海地震における府内・鶴崎などの現大分市域での甚大な被害の状況を伝える貴重な資料といえます。

発行日:平成25年2月16日

発行:大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大学国分960-1 Tel 097-549-0880 Fax 097-549-5766
※大分市ホームページの「観光・魅力」>「歴史・文化財」>「歴史・文化を学ぶ」>「大分市歴史資料館」も併せてご覧ください。(http://www.city.oita.oita.jp/)

ふれあい歴史体験講座

定員 各回70名程度(先着順)
時間 午前の部 9時30分～(約2時間)
午後の部 14時00分～(約2時間)

	実施日	内容	時間	材料費	受付開始日
第18回	3月2日(土)	管玉・丸玉作り	午前・午後	260円	2月19日(火)
第19回	3月16日(土)	勾玉作り	午前・午後	200円	3月4日(月)

応募 上記の受付開始日より、電話にて応募ください。
(大分市歴史資料館:097-549-0880)

テーマ展示解説講座

内容 講座室でテーマ展示Ⅳ「資料館のお宝」について、スライドなどで解説した後、展示会場を案内します。

日時 3月3日(日) 14時～15時30分

参加費 無料 ※事前の申し込みは必要ありません。

★上記の各講座等の参加者は観覧料が無料になります。

利用案内

- 開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)
- 休館日 月曜日 但し祝日の場合は開館
但し第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館日
祝日の翌日 但し土・日曜の場合は開館
年末年始 12月28日～1月4日
- 観覧料 大人200円(団体150円) 高校生100円(団体50円)
中学生以下 無料 ※団体は20名以上
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者は無料。
◎入館時に受付で手帳を提示してください。
- 交通機関
 - ・JR久大本線
豊後国分駅下車 徒歩2分
 - ・大分バス[国分新町ゆき]
歴史資料館入口下車 徒歩5分
 - ・大分自動車道
大分I.C・光吉I.Cよりともに約15分



大分市歴史資料館

OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

ニュース

vol.
102
2013.2.16

歴代職員が選ぶ!

資料館のお宝

無料の宝

2月16日(土)～4月7日(日)

テーマ展示Ⅳ



大分市
歴史資料館

資料館のお宝

会期

2013年
2月16日(土)～
4月7日(日)

大分市歴史資料館は、本年度に開館25周年を迎えました。この間、さまざまな資料を収集し、それを企画展などを通して、郷土の歴史とともに紹介してきました。また、25年間の資料館の運営についてもたくさんの職員が携わり、資料館を支えてきました。

本展示では、これまでに収集した個性豊かな収藏品の中から、館と共に歩んできた歴代の資料館職員が、それぞれの視点で選ぶ逸品を「資料館のお宝」として紹介します。

I. 考古資料

※ 展示番号/資料名(出土遺跡)/時代/推薦者コメント

- ① ステゴドン象化石 およそ144万年～40万年前 S.N 収藏品の中でも一番古い資料。K.K 市内の小学生在発見したところが良い。
- ② ドングリ(イチイガシ) 国指定史跡 横尾貝塚 縄文時代後期/およそ4000年前 T.K 縄文人の食生活を物語る貴重な資料。
- ③ 勾玉飾り付弥生土器壺 久原遺跡 弥生時代中期/およそ2000年前 K.T 弥生人のセンスあふれる珠玉の逸品。くしゃみをして大魔王はでできません。
- ④ 小銅鐸 多武尾遺跡 弥生時代後期/およそ1800年前 K.S 県内で2例。古代の音色が聞こえてきそう。
- ⑤ 豊後国分寺の創建瓦「複弁十葉蓮華文軒丸瓦・偏行唐草文軒平瓦」 国指定史跡 豊後国分寺跡 奈良時代/8世紀 M.T 豊後国分寺跡に併設する当館を代表する収藏品。
- ⑥ 「天長九年 尼寺」銘 墨書土器 国指定史跡 豊後国分寺跡 平安時代/天長9年(832) T.N 土器の年代を知ることができる大変貴重な資料。

II. 歴史資料

- ⑦ 源頼朝書状 鎌倉時代/12世紀 M.T 誰もが知っている源頼朝の本物の書状。重要文化財クラス!
- ⑧ 大友宗麟書状 戦国時代/永禄12年(1569) E.K 宗麟の情報に驚かされる。
- ⑨ 蘭語譯撰 江戸時代/文化7年(1810) H.I 蘭学好きの中津のお殿様が西洋風の表装にまでこだわって作った和蘭辞書。
- ⑩ 熊本藩主細川氏御座船鶴崎入港図 明治時代前期/19世紀 S.H 参勤交代の勇姿を表す逸品。
- ⑪ 御城下絵図 江戸時代中期/17世紀後半～18世紀前半 M.K 一つ一つの絵に物語を見出せる逸品。
- ⑫ 東海道中栗毛弥次馬 江戸時代末/万延元年(1860) K.T 夢とロマンを抱かせる旅行パンフ。
- ⑬ 松平忠昭中津留屋敷絵図 江戸時代/文化7年(1810) K.U 江戸時代初期の中津地区の姿を今日に伝える貴重な資料。

- ⑭ 瀧廉太郎直筆楽譜「花盛り」 明治時代 O.M 現存する数少ない直筆楽譜の一つ。日本で最初につくられた二部合唱の楽譜としても大変貴重な逸品。
- ⑮ 高崎城跡の模型 (1/500)現代 H.T 山城から大友氏の姿が見えてきそう。

資料館には、このほかにも大分の歴史を語る貴重な収藏品がたくさん保管されていますよ!

※ 資料名の後に表記しているローマ字は、その資料を選んだ歴代職員のイニシャルです。詳細は展覧会にてご覧ください。

III. 美術・工芸品

- ⑯ 華南三彩刻花文六耳壺 戦国時代/16世紀 Y.Y 制作者のもつフランス感覚や美的調和が伝わってくる逸品。
- ⑰ 花鳥文蒔絵螺鈿洋櫃 桃山時代/16世紀末～17世紀 H.O 当館で一番最初に収集した南蛮美術品の貴重な逸品。
- ⑱ 源氏物語図「花宴」(8帖) 桃山時代/17世紀 E.A なにやら恋がはじまる予感。
- ⑲ 桜楓山水図蒔絵印籠 江戸時代後期/19世紀 A.K 工芸の各種技法の粋が駆使された素晴らしい逸品。
- ⑳ 刀「盛利」 江戸時代/天保9年(1838) S.G 白刃の輝く姿をみてもいい逸品。

IV. 民俗資料

- ㉑ 畳職道具 昭和30年頃/1955年頃 M.A 物作りに長けた日本人の貴重な遺産。
- ㉒ 「慶応二」銘入り唐箕 江戸時代後期/慶応2年(1866) M.H 江戸時代から現代まで使われつづけた大分市で最も古い唐箕。



18



5



11



14



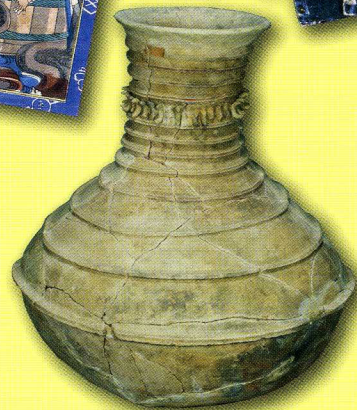
12



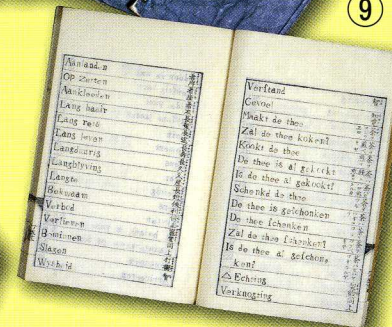
9



22



3



10



1



4



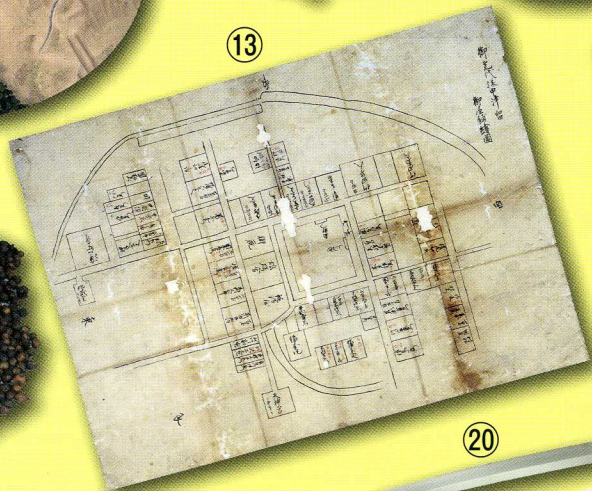
15



13



2



20



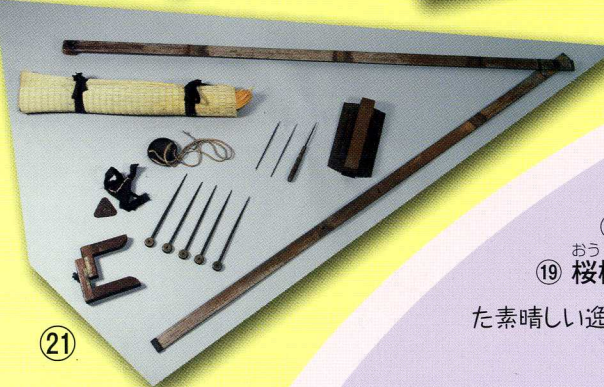
7



16



6



21



17